

# キネトロニクス イオン化エアードスター

キネトロニクスの静電気除去イオン化エアードスター缶タイプは、通常市販されているエアードスターの埃を吹き飛ばす機能をレベルアップします。

イオン化された空気は効果的に埃を除去しますので、通常のエアードスター缶に比べて短時間で処理できるため、缶の空気も長持ちします。フィルム（ネガ・ポジ）、レンズ、デジタル写真関連の備品、ガラス、プラスチック、プリンター、コンピューター、キーボード、その他の事務用品などの表面から静電気を取り除きます。

電気伝導性のない物質の表面に圧縮ガスを吹き付けると、静電気が発生します。これはトライボエフェクトリック現象と呼ばれるものです。静電気は埃などの微粒子を吸着するので空気を吹き付けてもうまく吹き飛ばすことが出来ないばかりか、さらに多くの埃を集めてしまいます。

キネトロニクスの静電気除去イオン化エアードスター缶タイプは、空気をイオン化させることによってこの現象が起きるのを防止します。このイオンが物質の表面から静電気を取り除き、埃を吹き飛ばしやすくします。

## 付属品（パッケージ同梱）

特性ディスペンサーノズル（Aタイプ：白、Bタイプ：黒）	2 個
特性バランスランプ	1 個

## 使用説明書

エアードスター缶の成分を確認してください。可燃性のガスを含むものはご使用いただけません。電気を流す際に引火する恐れがあります。

市販のエアードスター缶の頭部についているノズルを取り除きます。取り外すときにドライバーなどを利用して押し上げる必要がある形状のものもあります。その場合は金属の部分だけでなく、プラスチックの部分にドライバーを差し込みます。

元から付いていたノズルを取り外すと、缶の上部は以下の形状のどちらかになっているはずです。缶の上部から小さいプラスチックのチューブが突き出しているタイプ（Aタイプ）、もう一つは缶上部の中心にネジ山のある柱があって、その中央に小さな穴が開いているタイプ（Bタイプ）です。同梱の特性ノズルは2種類、それぞれの形状に合うようになっています。

いずれかのノズルを選んで缶の上部に取り付けます。取り付けるときにはガスが噴射されますので、作業は素早く行ってください。

イオン化エアードスターの先端をダスター缶上部の溝にしっかりとはめ込みます。（このときノズルの噴射孔は正面を向くようにセットします。）

同梱のバランスクランプは、イオン化エアードスターを取り付けた缶が倒れないように支える部品です。突き出して重なっている部分がイオン化エアードスターのハンドルの下にくるようにして、なるべく缶の下のほうに取り付けます。

## 使用前のチェック事項

- ✧ ノズルの噴射孔がガード中央の隙間に見えるようにイオン化エアードスターを回転させて調整してください。
- ✧ イオンを発生させるエミッターピンが、ノズルの噴射孔のすぐ上にあることを確認してください。
- ✧ 軽くトリガーを引く（ガスが出ない程度に）と、エミッターピンはノズルの噴射孔上部にあるV型の溝に入っていきます。このときノズルを前から見ると、エミッターピンの先端は噴射孔中央のすぐ上に重なっているはずですが、正しく使用するためには、エミッターピンの位置が非常に重要です。エミッターピンの位置は工場出荷時に調整されますが、輸送中やダスター缶への取り付けや取り外しを行う際にずれてしまうことがあります。この時にはラジオペンチなどを使用してエミッターピンの位置を調整してください。使用してから30分以上経過していないイオン化エアードスターピンを触れる場合は、事前にショートさせておきます。
- ✧ 使用中エミッターピンには数千ボルトの電圧がかかります。使用后しばらくは帯電しておりますので注意してください。
- ✧ 上部の蓋を開けて乾電池を指定どおりにセットして電池の両端が金属部分にしっかりと接触していることを確認してください。
- ✧ イオン化エアードスターの後部に付いている電球が、トリガーを引くと点灯することを確認してください。ガスを噴射させている間は点灯しています。この電球が点いているとき、空気はイオン化されています。

## 使用のヒント

- ✧ 通常のエアードスターに比べて非常に効果が高いため、小さい面積を処理する場合には噴射時間を短くしてください。
- ✧ 広い面積に使用する場合は、ゆっくりと動かしながら噴射しています。
- ✧ 吹き付けは表面から15センチから30センチぐらい離して行います。
- ✧ この商品は高圧ガスのダスター缶専用です。それ以外の用途には使用しないでください。